



SAITAMA RESONA TODAY

2026ミニディスクロージャー誌



地域のプラスを共創し、 未来志向の道徳銀行へと進化

りそなグループのサステナビリティの取組み

マテリアリティ パーパスに込めた、「実現したい未来社会」を起点に、優先的に取り組むべき領域と、その実現に向けて克服すべき自社内の課題を、改めて特定しました。新たなマテリアリティを、戦略や事業活動に一貫して落とし込み、社会課題の解決と当グループの持続的成長の両立を目指します。

実現したい未来社会

未来をプラスに

活力あふれる社会

豊かで幸せに暮らせる社会

次世代につなぐ持続可能な社会

未来社会を実現する経営基盤

マテリアリティ

自社が優先的に取り組むべき4つの領域

産業成長による地域社会の発展・活性化

次世代リテール金融の創造

少子高齢化社会での生活の安心、豊かさの実現

将来世代にわたる豊かな未来社会の実現

未来社会の実現に向けて取り組むべき2つの自社内の課題

人的資本の強化

強固なガバナンスの確立

サステナビリティ 長期目標



リテール・トランジション・ ファイナンス※目標

2021年度～2030年度までの
累計取扱高15兆円

※トランジションとは、現在の状態から次の状態に移行・変化すること
お客様の意識・行動のトランジションに向けて、現在地からの着実な前進に資するファイナンスを称しています

当グループにおける カーボンニュートラル目標

自社調達電力の再生可能エネルギー化を積極推進し、当グループのエネルギー使用に伴うCO₂排出量を2030年度までに実質ゼロにする

当グループにおける女性登用・ 活躍推進・拡大目標

2030年度までに

- りそなホールディングスの女性役員比率30%以上
- グループ5社の女性経営職階比率20%以上
- グループ5社の女性ライン管理職比率40%以上

投融資
ポートフォリオの
温室効果ガス排出量
ネットゼロ宣言

2050年までに投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指します

主な実績はP.18をご覧ください

埼玉県
SDGsパートナーに
登録されています



お客様の声をぜひお聞かせください

本誌に関するアンケートを実施しています
お手数ですが、下記URLまたは二次元コードよりアンケートの送信をお願いします

<https://www2.resona-gr.co.jp/seminar/saitamaresona/seq260019/index.html>

埼玉りそな銀行TODAYで
もっと知りたいことを
送ってみましょうか



埼玉りそな銀行のホームページもご覧ください [埼玉りそな銀行Q](#)
発行/2026年7月 株式会社 埼玉りそな銀行
〒330-9088 埼玉県さいたま市浦和区常盤七丁目4番1号 TEL 048-824-2411(代)





地元埼玉とともに発展する銀行

～「未来志向の道德銀行」を目指して～

皆さまには、平素より埼玉りそな銀行をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

りそなグループは「金融+で、未来をプラスに。」というパーパスのもと、従来の金融サービスの枠にとどまらない新たな発想で、お客さまのこまりごとや社会課題の解決に取り組んでおります。

当社は創業以来「埼玉県の皆さまに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行」を目指し、役職員一人ひとりが、お客さまのこまりごとや地域の課題に寄り添い、真摯に向き合いながら、未来にプラスの価値を生み出す取組みを積み重ねてきました。

個人の暮らしに寄り添う「くらしコンシェルジュ」、経営者の思考や判断をサポートする「経営支援リーダー」をはじめ、金融サービスの提供にとどまらない暮らし全般、事業全般を支える伴走型の支援を続けております。

また、地域全体の課題解決や活性化にも活動の幅を広げ、全世代を対象とした金融経済教育・金融犯罪被害防止への取組みのほか、フードドライブやブックドライブ活動、洋服の譲渡会や外国にルーツのある子どもたちへのランドセル寄贈など、未来の担い手を支え、地域社会の基盤を強くする取組みに力を注いでいます。政府が掲げる「こどもまんなか社会」の実現を目指し、次世代を担う子どもたちを中心に据えた取組みも進化させており、「りそな YOUTH BASE」をはじめとする銀行施設を活用した地域共創拠点も、子どもの居場所づくりや地域交流の場として広がり、2026年7月時点で16拠点となりました。

深刻化する空き家問題や地域産業である農業の課題に対しては、当社がハブとなり、「空き家まるごと解決システム」やサーキュラーエコノミーの実現など、自治体や専門企業などと連携した取組みが進んでいます。



埼玉県の皆さまに信頼され、



複雑化する地域のこまりごとをデザイン思考で捉え、“広く、深く、長く”地域の発展に伴走する会社として設立した「地域デザインラボさいたま（愛称：ラボたま）」は、地域の魅力向上に向けた支援や、地元企業と連携した取組み、りそなコエドテラスの運営など、従来の銀行の枠を超えた価値共創が着実に広がっております。

本年4月よりスタートした新たな中期経営計画は、こうしたこれまでの取組みの延長線上にあります。これまで積み上げてきた「こまりごと起点」「共創」の実践を土台に、「まち・ひと・しごと」を軸として地域の課題を面的につなぎ、より深く、より実効性のある価値創出へと発展させてまいります。

地域金融機関の発展は、地域社会・経済の発展があってこそ成り立ちます。当社の原点である渋沢栄一翁の掲げた「道德経済合一」の理念を胸に刻み、信頼を軸に、地域の皆さまとともに価値を創り続ける『道德銀行』の実践を通じて、埼玉県が目指す「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に貢献してまいります。そして、「地域から最も必要とされ、選ばれ続ける道德銀行」として存在価値を高めるべく、役職員一丸となり、未来志向で変革と挑戦を続けてまいります。

今後とも、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2026年7月

RESONA Group Purpose

金融+で、未来をプラスに。

社会がどのように変わっても、安心して前を向けること。希望を持って踏み出せること。

そのために私たちは一つひとつの地域に寄り添い、金融の枠にとどまらない発想で小さなことでも、大きなことでも、未来をプラスに変えていく。

たくさんの安心と希望、そしてワクワクする未来のために、私たちりそなは、変革と創造に挑み続けます。

2023年5月制定

りそなグループの構成図（概略） 2026年4月1日時点



※（ ）内は持株比率

会社概要（2026年4月1日時点）

名称（英文名）	株式会社 埼玉りそな銀行 (Saitama Resona Bank, Limited)
本店所在地	埼玉県さいたま市浦和区常盤七丁目4番1号
代表者	社長 篠藤 慎一
従業員数	3,247人 ※2026年3月31日時点
資本金	700億円
株主（持株比率）	株式会社りそなホールディングス（100%）
設立日	2002年8月27日（営業開始日2003年3月3日）
有人店舗数	127店（うち埼玉県内124店）
店舗外ATM	273ヶ所

- 1 トップメッセージ
- 3 特集
- 13 ネットワーク
- 15 エリア情報
- 17 埼玉県からのお知らせ
- 18 情報ディスクローズ

Special Feature 未来志向の 道德銀行

地域のプラスを共創し、未来志向の道德銀行へと進化

『日本一暮らしやすい埼玉』の実現へ

埼玉りそな銀行が目指すのは、「未来志向の道德銀行」です。
それは、地域やお客さまから最も身近で頼られる存在として、
創業以来目指し続けてきた
「埼玉県の皆さまに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行」になることです。
私たちの原点には、渋沢栄一翁の「道德経済合一」の理念があります。
地域やお客さまへの思いやりを大切に、感謝を忘れず、信頼を積み重ねる。
そして、多様な人々との共創を通じて、埼玉の未来をより良く変えていく。

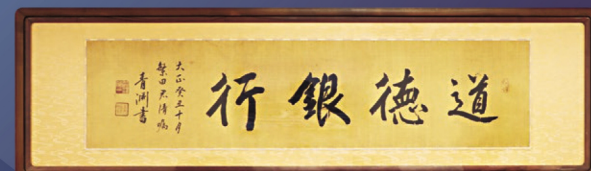
地域の期待に応え続けること。
地域とともに成長し続けること。

その先にあるのが、『日本一暮らしやすい埼玉』の実現です。
私たちは、「地域から最も必要とされ、選ばれ続ける道德銀行」として、
未来志向で変革と挑戦を続けてまいります。

旧黒須銀行の建物は
1909(明治42)年に
本店営業所として建てられたもので、
1960(昭和35)年までは後身の
埼玉銀行豊岡支店として
使用されました。

「道德銀行」とは？

当社の源流の一つである黒須銀行が、庶民の貯蓄を資本に
学校へ有利な利子を付け、利益から寄付も行ったことから、
世間より「道德銀行」と呼ばれました。



黒須銀行の創立15周年に渋沢栄一翁から贈られた「道德銀行」の扁額



渋沢栄一

2026年度～2028年度
埼玉りそな銀行の中期経営計画

3つの基本方針

まち

魅力ある次世代の
共生社会づくり

P5▶

ひと

安心安全・
幸せな暮らしづくり

P7▶

しごと

挑戦と進化・
発展の産業づくり

P11▶

基本戦略

広く、深く、長い
共創エコシステム構築

柔軟かつ敏捷な
伴走力発揮

道德経済合一で
共感を育むブランド確立

経営基盤

共創価値を最大化する
経営資源マネジメント

持続的な成長を支える
リスクガバナンス

社会起点で自律的に
成長する組織文化

経営指標 2028年度

株主資本ROE
14%程度

業務粗利益
2,000億円

経費率(OHR)
40%台

CET1比率
10%台

コア業純RORA
2.5%程度

ブランド強度スコア
60pt

【目指す姿】 埼玉県 of 皆さまに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行

『日本一暮らしやすい埼玉』の実現



地域のプラスを共創し、
未来志向の道德銀行へと進化

「まち」

未来志向の道德銀行

魅力ある次世代の共生社会づくり

介護・医療体制の充実

エコシステム構築
伴走支援強化

次世代のまちづくり

インフラ更新
行政DX推進支援

地域の魅力創出

地域資源活用
魅力発信体制強化

Case 1

空き家対策

大切な家を空き家にさせないために

空き家問題は、地域の景観や防災・防犯への影響にとどまらず、地域コミュニティの維持にも関わる重要な社会課題となっています。当社では、埼玉県内の空き家に関するこまりごとを解決するため、各分野において信頼と実績のある専門企業と連携した「空き家まると解決システム」を構築し、空き家の発生抑制から管理、活用、流通までをワンストップでサポートいたします。

今後は、本サービスを通じて、自治体とも連携しながら、埼玉県内の空き家の増加を抑制し、魅力ある次世代のまちづくりを目指します。

空き家解決でつなぐ“まちのみらい”

情報の整理に役立つ「空き家対策セミナー」

ご高齢の方がおひとりもしくはお子様が遠方にお住いの場合は、将来的に空き家となる可能性が高いと言えます。そのため、早い段階から将来への備えを進めることが大切です。例えば、誰に・どのように住まいや財産を引き継ぐのかをご家族で話し合い、遺言書を作成しておくことも有効です。当社では、こうした準備をお手伝いするため、各拠点で空き家対策セミナーを開催し、情報の提供を行っています。

お客さま一人ひとりのこまりごと解決が“まちの未来”へ

空き家問題の解決に当社が関わることの意義は、金融機関が持つ安心感にあると感じています。空き家の所有者の中には、「誰に相談すればよいかわからない」「何から始めればよいかわからない」という方も多くいらっしゃいます。当社は、金融資産を含めた幅広いご相談に対応できる立場として、お客さま一人ひとりに合った選択肢をご提案し、課題解決に向けて伴走しています。空き家を放置すると地域にさまざまな影響を及ぼしますが、利活用や売却が進むことで、新たな住まいや事業の場として活用され、地域のにぎわいや防犯性の向上、経済活動の活性化にもつながります。空き家の解決は、一軒の家だけでなく、まちの未来への取組みでもあります。

空き家対策の取組みへの“想い”

当社の空き家問題への取組み開始から2年、解決策の提供開始からは1年が経過し、ご相談にお応えできる体制を整えてまいりました。今後も、空き家オーナーのみならず不安に寄り添い、課題解決を支援することで、まちの活性化と持続的な発展に貢献してまいります。

空き家まると解決システム



地域ビジネス部
地域デザイン室
空き家対策グループ
担当マネージャー
中島 花穂



埼玉県内各地域にて「空き家まると解決システム」を担う提携企業



トップメッセージ

特集

ネットワーク

エリア情報

情報ディスクローズ

Case 2

地域デザインラボさいたま(愛称：ラボたま)



◀地域デザインラボ
さいたま公式HP

複雑化する地域課題に“デザイン思考”で伴走支援

地域デザインラボさいたまでは、県内の自治体や地域企業・住民、大学などの学術機関などと連携して、地域課題の解決に取り組んでいます。埼玉県では本格的な人口減少局面を迎え、社会課題が一層複雑化する中、ラボたまの提供価値である「まちの好循環創出」、「暮らしの安心創出」、「新たな産業創出」、「地域の魅力創出」を通じ、『活力溢れる持続可能な地域社会』を目指すことで、『日本一暮らしやすい埼玉』の実現に貢献しています。



埼玉県内各地域で、中心市街地や都市全体、未利用地などのグランドデザインや計画策定・実行・運営の支援などの伴走を行っています。

志木市の事例

志木市では、中心市街地のさらなる活性化を目指し、

✓「いろは親水公園」の民間活力活用検討

✓担い手づくり支援

まちづくり会社設立支援・自走可能な事業計画検討

✓まちづくり会社の伴走支援

創業相談支援・ウォークアブル推進事業支援・チャレンジショップ事業支援

と複数年にわたり、幅広く地域に伴走しています。



にぎわい創出で“持続可能なまちづくり”を

志木市では、中心市街地の集客力低下や空き店舗の点在が課題となっていました。ラボたまでは、行政の補助だけに頼らず、民間主体でまちづくりを展開する「まちづくり会社」の設立をサポート。空き店舗を活用したチャレンジショップを民間主体で実施するなど、地域に愛着を持った方々が、住むだけでなく、自分ごととして関われるような支援を行うことで、持続的なまちづくりに挑戦しています。

地域デザインラボさいたま
担当マネージャー 井村 公一



おかげさまで
2026年10月で設立5年

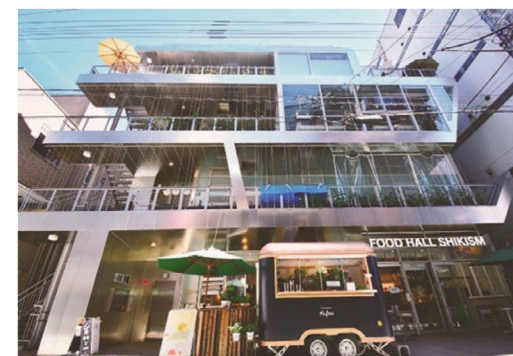
挑戦

650
件超

実績

120
件超

※件数は2026年6月現在



志木起業センターの外観



志木チャレンジショップ2号店出店の様子



地域のプラスを共創し、
未来志向の道德銀行へと進化

「ひと」

未来志向の道德銀行

安心安全・幸せな暮らしづくり

子育て・教育

子どもの
居場所づくり
金融教育の推進



くらしの安心

一人ひとりに寄り添う
資産形成
承継支援



住まいの安心

購入から家じまいまで
“伴走型ローンモデル”
構築



Case 「こどもまんなか社会」の実現

地域の思いやりをつなぎ、子どもたちの未来を育む

フードドライブ・衣類の寄付

全拠点で取引先や子ども支援団体と連携し、家庭に眠る食品、衣類、文房具、本などを必要としている子どもたちへ届けています。近年は地元企業と協働で取り組むケースも増えており、地域全体で子どもたちを支える活動へと広がっています。



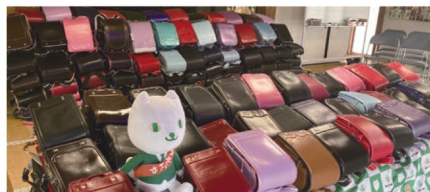
地域をつなぐ書籍の活用

松原支店では、新たな書籍を確保することが課題となっている図書館と、活用しきれない書籍を抱える「古本市場」を運営するティツーの双方の課題を結び付け、地域の子どもや市民の学びの機会創出を実現しました。



ランドセルの寄贈

取引先や地域団体・学校などと連携し、使わなくなったランドセルを集め、日本全国の外国にルーツのあるご家庭の子どもたちへリメイクしてお届けしています。この取組みは2026年で4回目を迎え、集まったランドセルの数は累計497個となりました。



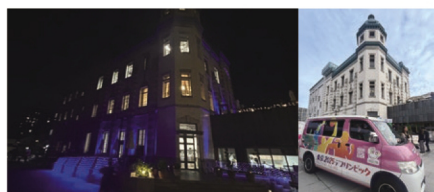
Case 誰もが安心して暮らせる未来へ

ともにつながり笑顔があふれる社会づくり

デフリンピック®壮行会を開催

埼玉りそな銀行と地域デザインラボさいたまは、りそな コエドテラスで開催されたデフリンピックの壮行会に共催・運営協力として関わり、手話体験やデフスポーツの紹介などの企画を通じて大会の機運醸成に努めました。当日、りそな コエドテラスは「手話言語の国際デー」などに関連したシンボルカラーの青にライトアップされました。

※聴覚に障がいのある人のための国際総合スポーツ大会



車いすバスケ×金融経済教育

戸田支店では、戸田市が掲げる「障がいを理由とする差別のない共生社会づくり条例」を踏まえ、ポートレース戸田が保有する競技用車いすバスケ用ボールコートを活用し、小学生向けの車いすバスケ体験と金融経済教育を組み合わせたイベントを企画・実施しました。参加した子どもたちはケイアイスター不動産に所属する選手との交流や体験を通じてバラスポーツへの理解を深めるとともに、障がいや共生社会について学びました。



共創人財トレーナー

当社では、NPO法人での活動体験を通じて社会課題の実態を学ぶ「共創人財トレーナー制度」を2023年に開始しました。社会貢献の視野拡大や共助意識の醸成、課題解決力の養成を目的として半年間NPO法人に出向しており、2026年7月現在は第6期生が活動しています。トレーナー期間終了後は地域共助活動の旗振り役として当社内で組織を牽引しています。



トップメッセージ

特集

ネットワーク

エリア情報

情報ディスクローズ

Case “全方位型”金融経済教育

全世代に向けた多彩なメニューで、金融リテラシー向上をサポート

近年、金融リテラシーの重要性が高まる中、当社では地域の皆さまの暮らしに寄り添い、将来に役立つ知識を育むための金融経済教育に積極的に取り組んでいます。学校や地域と連携し、世代を問わず幅広い層への学びを提供しています。

SDGs教育や探究学習のサポートも行っています

小学生・中学生の皆さまへ



従業員が講師の マネーアカデミー

オリジナルのクイズやゲーム、講義を通して、お金や働くことの大切さ、銀行の役割などについて伝えています。銀行の職場見学やロビー体験のほか、取引先とのコラボ授業も開催しており、経済を身近に感じいただいています。

高校生・大学生などの皆さまへ



社会変容も踏まえた 若年層へのセミナー

成年年齢引下げや学習指導要領改訂を受け、若年層への金融経済教育のニーズが高まる中、出張授業などを実施。学校の要望に応じ、ライフプラン・資産形成・金融犯罪被害防止のカリキュラムをセミオーダーメイドで提供しています。

現役世代の皆さまへ



働く世代に向けた 資産形成セミナー

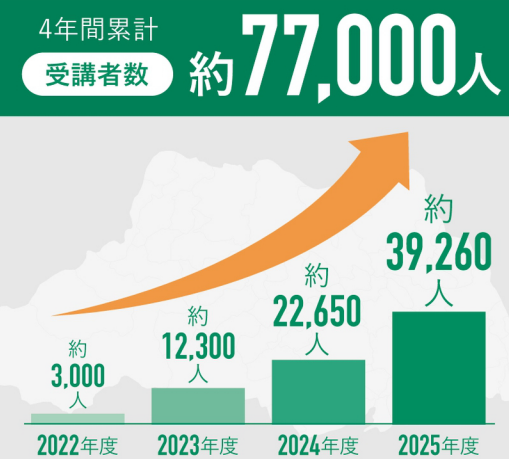
人生100年時代を見据えた効果的なノウハウをご提供。また、公的年金の役割の縮小や少子高齢化の進行により、老齢給付を主とした企業年金の重要性が増していることから、企業年金を導入している企業へのセミナーも実施しています。

すべての世代の皆さまへ



特殊詐欺などの 金融犯罪被害防止セミナー

増加傾向にある特殊詐欺などの金融犯罪から身を守るため、幅広い地域でセミナーを実施しています。最近の詐欺事例や地域特性を踏まえた対策を警察・銀行の立場から紹介し、キャッシュレス決済利用時の注意点などもあわせてご案内しています。



暮らしや社会の
安心を創出

未来を担う
子どもたちの
自立できる力を育成

巧妙化する
金融犯罪への
対応

金融リテラシーの向上で地域社会に安心を

坂戸支店 マネージャー 木住野 恵里子

多様なニーズにお応え力になりたい

地域の皆さまが安心して未来を描けるよう、幅広い取り組みを行っています。相続や贈与、金融犯罪への備えなど暮らしに密着したテーマに加え、健康と資産管理を組み合わせた独自の内容など、世代や関心に応じた多様な学びの場を提供しています。実際に、「セミナーで学んだ知識を活かして詐欺被害を未然に防ぐことができた」との声や、若い世代が将来の資産形成に前向きになる姿から、地域の安心と未来を支える力になれることを実感しています。

私たちの考える金融経済教育とは

金融経済教育は銀行が果たすべき社会的責任であり、地域の皆さまの生活を支える基盤であると位置付けています。お金に対する不安を軽減し、一人ひとりが安心して将来を考えられる環境を整えることで、より豊かな人生を歩むお手伝いにつながるものと考えています。

地域づくりへの想い

今後、デジタル化が進む中においても、「人と人との結びつき」を大切にしながら、対面だからこそ伝えられる安心感や信頼を重視していきます。一人ひとりに寄り添い、地域や行政、お取引先と連携しながら、金融経済教育を起点とした持続可能な未来志向の地域づくりに貢献していきます。



人と地域をつなぎ、 地域のプラスを広げる空間へ

店舗などの空きスペースを活用し、子ども支援や地域貢献団体に無償でご利用いただくなど、学校以外の多様な学び場・機会の提供を後押しするとともに、地域貢献につながる様々なイベントの企画・活動場所の確保をサポートします。



①りそな YOUTH BASE せんげん台



⑩朝霞支店 食品保管庫

りそな YOUTH BASE 川越の活用事例

2026年7月現在、当社の共創空間は16拠点に広がっており、地域の皆さまとともに新たな価値を生み出す拠点としてこれからも進化を続けます。その中でも「りそな YOUTH BASE 川越」(右表⑦)で実施した開設1周年記念イベントに関わった川越支店の3名の従業員の想いについてご紹介します。

Q1. りそな YOUTH BASE 川越の1年間を振り返って



川越支店 営業第三部長
柳 まみ

- ：立ち上げ当初は手探りでしたが、地域のお役に立てることを支店のみんなで考えながらイベントを企画してきました。
- ：共創空間のおかげでこれまでリーチすることのなかった地域の課題を知ることができ、「こんなことで困っている」「こんな相手とつながりたい」といった声を参考に新しい企画につなげています。
- ：様々な企画を通じて、私たち自身が地域の方から元気をいただき、大きな学びを得ています。

Q2. りそな YOUTH BASE 川越1周年企画について教えてください

●：まず最初に地元の小学生を対象にキッズマネーアカデミーを企画しました。通常は夏休みだけの開催でしたが、冬休みを活用して13名の子どもたちに参加してもらいました。お金だけでなく夢や家族とのつながりの大切さについても伝えました。

●：次に子育て応援セミナーを開催。川越市には産婦人科が少なく、安心して出産・子育てできる環境づくりが大切だと感じ、子育てに不安を抱える方が、少しでも気持ちを軽くできる場にしたいと強く思いました。「銀行が提供する居場所ということもあり、安心して参加できた」というお声もいただきました。

●：川越市では、子どもや若者の居場所づくりに取り組まれています。活動の周知や協力企業の広がりには課題がありました。地域貢献への想いを持つ企業や団体は多い一方で、活動が個別になりやすく、横のつながりが生まれにくい面もあります。そこで、銀行は人や団体、企業をつなぐ立場になりうると考え、「つながる川越 地域連携フォーラム」と題した交流セミナーを開催しました。川越市、社会福祉協議会、地域貢献団体の皆さまに活動や課題を共有いただき、企業の皆さまにとっても「自分たちに何ができるか」を考える機会になったと思います。当日は17の地元企業・団体にご参加いただき、交流会やパネル展示を通じて新しいつながりが生まれました。



川越支店 渉外課
マネージャー
吉川 千鶴

共創空間創出実績(2026年7月時点16拠点)

①	2022年10月	子どもの居場所づくりの取組みとして「りそな YOUTH BASE」をせんげん台支店3階に開設
②	2024年3月	地域貢献団体などが利用できる「三郷菜の花ガーデン」を三郷支店3階に開設
③	2024年5月	旧川越支店の建物を「りそな コエドテラス」としてリニューアルオープン
④	2024年6月	西川口支店3階に多目的共創スペースを設置
⑤	2024年8月	「りそな YOUTH BASE 浦和」をさいたま研修センター内の旧社内保育所に開設
⑥	2024年10月	新築移転した白岡支店に地域貢献活動を行う団体などが利用できる多目的共創スペースを設置
⑦	2025年2月	「りそな YOUTH BASE 川越」を川越支店・川越南支店に開設
⑧	2025年5月	「りそな サクラ BASE」をところざわサクラタウン出張所に開設
⑨	2025年7月	大宮西支店のサイネージにて(株)デサンと平成レトロの展示を実施
⑩	2026年2月	朝霞支店の物品庫を地域の子ども支援団体の食品保管庫として貸与
⑪	2026年3月	上福岡支店の仮店舗外壁にて「みんなのぬりえ」として地域の保育園児の作品を掲示
⑫	2026年3月	せんげん台支店2階の会議室を多目的共創スペースにリニューアル
⑬	2026年4月	入間支店のロビー空間にコミュニティスペース「いるまCafé」を設置
⑭	2026年5月	松原支店のロビー空間に地域情報発信スペースを設置し、獨協大学と地域活性化に関する取組みについて展示
⑮	2026年5月	北本支店に社会福祉協議会が埼玉県学校給食会から受けた寄付食品を保管する冷凍庫を設置
⑯	2026年7月	移転オープンする蓮田支店の新店舗に多目的共創スペースを設置



⑦りそな YOUTH BASE 川越
「つながる川越 地域連携フォーラム」の様子

Q3. りそな YOUTH BASE 川越を どんな場所にしていきたいですか

- ：「ここに来ると新しい気づきがある」「地域との新しいつながりが生まれる」と思ってもらえる場所にしていきたいです。
- ：悩みを抱える方が「自分だけじゃない」と感じられる場でありたいです。相談ができて、つながれて、少しでも前向きになれる。そんな空間を目指していきたいです。



川越支店 渉外課 松田 菜々恵

暮らしにまつわるこまりごとに総合的に対応

くらしコンシェルジュ



詳細はこちら

お近くの店舗でもオンラインでも

127の全有人拠点に設置

暮らしのモヤモヤ解決をサポート

将来を見据えて寄り添い、 未来に安心を届ける

心に残る感謝のお言葉

いつもは特定の金融商品の運用のご相談が中心だったお客さまが、ご夫婦でご来店されたことがありました。そのことをきっかけに「ふやす」ことだけでなく、「のこす」方法についてもご案内したところ、ご関心を持たれ保険のお手続きをさせていただきました。半年後、お客さまが急にお亡くなりになり、その時の提案が、ご資産をお子さまへ円滑に引き継ぐことにつながり、ご遺族より「子どもに迷惑をかけずにすんだ」と感謝のお言葉をいただきました。目先のことでなく、お客さまと一緒に将来を考えた提案が、お役に立てたと実感した出来事です。

くらしコンシェルジュの私が目指すもの

AIの進化によって仕事のあり方が大きく変わる中で、「自分が窓口にいる意味は何だろう」と考えることがあります。今はお客さまご自身で多くの情報を調べ、知識を持ったうえでご来店されることも多い時代です。それでも足を運んでくださるのは、どこかに不安や迷いがあり、誰かに相談したい想いがあるからだと思います。だからこそ、ネットではたどり着けない情報をお伝えし、不安を払拭し、「来てよかった」と感じていただける身近な相談相手でありたい。時代の変化を捉え、変化を恐れず挑戦を続けながら、お客さまにとっての最善をともに考え、寄り添い、未来につながる安心を届けていきたいです。



久喜支店(鷲宮支店駐在) 渉外課
くらしコンシェルジュ 大石 陽菜

こんなお悩みはございませんか？

お金が思うように貯まらないです
貯蓄で大切なことは何ですか？

金利上昇に備え、住宅ローンを
固定金利に見直した方がいい？

万が一の病気・ケガなどで
家計が苦しくならないか不安です

他にも皆さまの身近なこまりごとをサポートしております

埼玉りそなの ライフコンサルティング



これからも自分らしく人生を歩んでいくために、今後予測される、ご自身・ご家族のライフイベントをあらかじめチェックしておくことと安心です。

介護や認知症への備え

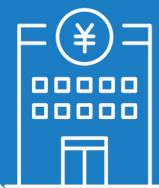


認知症や介護が必要な状態になったとき、気になるのがお金の管理です。お元気な今のうちに備えておくことで、将来の安心につながります。お客さまそれぞれに合った備えと一緒に考え、ご提案します。

暮らしの安心サポート



暮らしのこまりごとにお応えするためのサービスや商品などを提供する提携企業をご紹介します、暮らしの安心をお届けします。



地域のプラスを共創し、
未来志向の道德銀行へと進化

「しごと」

未来志向の道德銀行

挑戦と進化・発展の産業づくり



Case 1 埼玉りそな寄贈型CSR私募債 (地域活性化コース)

金融商品を通して広がる “共感の輪”

埼玉りそな寄贈型CSR私募債(地域活性化コース)は、企業の資金調達(私募債発行)を活用した、地域が抱える課題を解決する手段のひとつです。各支店がそれぞれの地域課題に目を向け、自治体や社会福祉協議会などの多様な主体との対話を重ね、その解決に向けた取組み内容を決定します。その理念に共感された私募債発行企業であるお客さまからいただく手数料の一部を当社がお客さまに代わって寄付し、地域活性化につなげています。



地域のこまごごとに寄り添える商品を

商品企画に込めた想い

この商品は、従業員一人ひとりが地域のことを知り、地域の課題に目を向け、そこに住む方々や地元企業と一緒に課題解決に取り組むことができると良いという想いで企画しました。

伝統や文化の継承

地域に想いが届いた実感を得たのは、ある地域のお祭りに寄付を行い、地元の老舗企業から「銀行が中心となって伝統を守る手伝いをしてくれてありがたい」という言葉をいただいたときです。地元のお祭りは、その伝統や文化が継承され続けることで幅広い年齢の方々が集まり、子どもたちにとっては、学校や塾などでは経験できない“貴重な学びの場”になります。お祭りは「ひとつづくり」であり、それが「まちづくり」につながっていくのだと強く感じることができました。

目指すは“共感の輪”

今後は、寄付をもとにムーブメントを起こし、地域の盛り上がりにつなげていきたい、という想いがあります。地域内外の人にこの私募債を通じた地域課題解決の取組みとその意義をお伝えすることによって“共感の輪”が自然と生まれていく、そのような広がりを目指します。

法人部 グループリーダー 古田 智史

Case 2 サーキュラーエコノミーへの取組み

社会的・経済的価値の同時実現

取引先の「食品残渣を未来に活かせる資源にしたい」という想いを起点に、銀行がハブとなり、教育機関・地域団体をつなぎ、食品残渣を原料としたバイオ石炭の技術検証から実証・活用に至るまで、関係者が一体となって取組みを進めました。生成したバイオ石炭は、「越生梅林梅まつり」の会場を走るミニSLの燃料として活用され、バイオ石炭の販売による売上も生まれるなど、事業としての広がりも見られました。

廃棄されていた食品残渣を資源として循環利用することで、環境負荷の低減に加え、地域イベントにおけるにぎわい創出にもつながりました。



様々な主体をつなぎ新たな価値を

ポイントは「社会」と「経済」の両立

銀行は単に資金面で支えるだけでなく、異なる分野の関係者をつなぐことで新たな価値を生み出せる存在だと感じました。廃棄されていた食品残渣が資源として活用されることで売上につながったことは、社会的価値と経済的価値の両立を実感できる貴重な経験でした。

地域の未来は様々な人や組織が関わり合うことで実現していくものであり、その実現まで見据えて伴走していくことが重要だと感じています。対話を大切にしながら、人と人、価値と価値を結び付け、地域に新しい可能性を広げていける存在でありたいです。

栗橋支店 渉外課 陶山 美羽

トップメッセージ

特集

ネットワーク

エリア情報

情報ディスクローズ

経営に関する身近なビジネスパートナー

経営支援リーダー



詳細はこちら

経営課題に応じた
戦略立案と実行支援

経営改善・事業再生・
転廃業支援まで対応

外部機関との
幅広い連携による総合支援



埼玉県中小企業活性化協議会(出向中)
統括責任者補佐 森 裕太

未来につなぐ、 地域とともに歩む経営支援

信じたのは“お店の味”

私は過去に、経営環境が悪化し、代表者の健康上の理由も重なり、事業継続が難しくなった地域の飲食業者の資産整理と再出発の支援に携わったことがあります。ご家族が懸命にお店を守り続ける一方で、債務を見直したりその先の事業のあり方に見通しが立たなかったりと、不安の大きい局面でした。そうした中、そのお店の味に価値を感じ、再出発を後押ししたいと考える地域の事業者の存在にも支えられ、関係者や専門家と連携しながら、資産の整理や新会社での再開に向けた道筋を一緒にひとつずつ整えていきました。

経営支援リーダーの私が目指すもの

目の前の課題を整理するだけで終わらせず、その先の再出発まで見据えて伴走することが、経営支援リーダーとしての大切な役割だと思っています。経営改善は、地域経済を支えることと同義だと考えています。一社を守ることにとどまらず、雇用や産業を守ることもつながります。これからも、お客さまや地域の未来まで見据え、地域のために何ができるかを考えることができる経営支援リーダーであり続けたいです。

こんなお悩みはございませんか？



環境変化に対応し、
計画策定の手伝いをしてほしい



円滑な資金調達のために
自社の事業性を評価してほしい



後継者や第三者に事業を引き継ぎ
雇用を維持したい

他にも企業の皆さまの持続的な成長をサポートしております

埼玉りそな創業 応援ファンド



創業企業の「資本増強」を目的としたエクイティファンドと、「事業計画策定」「伴走支援」をパッケージしたプロパー融資の2種類を取扱っております。

災害時返済猶予特約付融資 ～CATローン・返済猶予型～



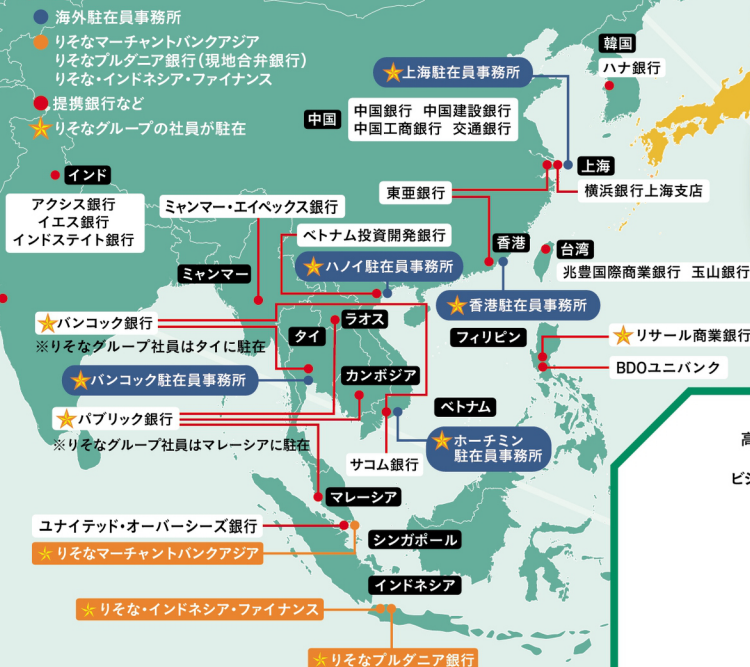
災害時の返済猶予や金利引下げなどの金融支援に加えて、融資後の伴走支援によりBCP対応を支援します。

ESG報告書活用型目標設定特約付融資 ～埼玉りそなSXロードマップローン～



お客さまの事業特性や経営課題を踏まえた独自の報告書を提供し、SX経営の現状と課題を可視化します。ESG目標を起点とした伴走支援を通じて、持続的なSXの実践を後押しします。

海外ネットワーク



埼玉県央・北地域

地域の価値をともに育み、未来へつなぐ

歴史と産業、暮らしや人の温もりが調和する地域です。お客さまに寄り添いながら、地域の価値をともに育み、未来へつなぐ存在として、質の高いサービスをご提供してまいります。

地域営業本部長 石井 良輔



りそなグループ

国内有人店舗数 **832** 店舗

[北海道・東北]	3	[関西圏]	518
[北関東・甲信越]	8	[中国・四国]	1
[中部・東海]	8	[九州]	5
[首都圏]	289		

各店舗の詳細は当社HPをご覧ください

埼玉りそな銀行 店舗のご案内



埼玉りそな銀行

有人店舗数

127 店舗

(うち、埼玉県内124店舗)

※2026年4月1日時点

埼玉東地域

未来志向で最良の価値と安心を

住宅地と多様な産業が調和している地域です。お客さまのライフステージのあらゆる場面に丁寧に寄り添い、未来志向で最良の価値と安心をこれからも届けてまいります。

地域営業本部長 平野 隆司



埼玉中央地域

地域の力を未来へつなぐ共創

多様な人と産業が集い発展を続ける地域です。お客さまの事業や生活に寄り添い、地域の力を未来へつなぐ共創を大切にまいります。

地域営業本部長 田畑 浩司



埼玉県央・北地域

埼玉西地域

こまりに寄り添い、明るい地域の未来を

自然豊かで商工業が盛んな地域です。地域の皆さまの未来を明るくするため、皆さまのおこまりに誠実に寄り添い、伴走する、最も身近で頼りになるパートナーを目指します。

地域営業本部長 吉岡 浩司



凡例

- 埼玉中央地域 支店
- 埼玉東地域 支店
- 埼玉西地域 支店
- 埼玉県央・北地域 支店
- 特定店
- 住宅ローン相談プラザ 近接・併設店
- ビジネスオフィス
- 主な高速道路
- 新幹線
- JR
- ++++ その他の鉄道等

未来志向の道德銀行

地域とともに共創社会を目指す 埼玉りそな銀行のネットワーク

さいたま営業部・東京支店

ネットワークを活かし共創

りそなのネットワークを活かして、持続可能な成長に貢献するサービスをご提供してまいります。

担当役員 菊池 英勝



さいたま市内の店舗





AREA VOICE

夢を形にする 地域連携

東松山市では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもと地方創生に向けた連携協定が結ばれており、当店もその一員として、地域の魅力を発信する新商品の名物づくりに取り組みました。行政、教育機関、事業者、金融機関が強みを持ち寄り、当店は情報発信や販売面の支援を担い、商品発表会へとつなげたことは、協定の趣旨を体現するものだったと感じています。

学生たちの自由な発想を老舗和菓子店の技で磨き上げていく過程には、地域の力を掛け合わせる面白さがありました。また、リそな コエテラスでの販売会における高校生の就労体験など、次世代の地域活性化の担い手づくりにもつながる意義のある大きな取り組みとなりました。

こうした連携を通じて、地域のつながりが深まり、東松山の新たな魅力を地域内外へ発信する土台がつけられました。今後も、地域の未来を支えるために、お客さまや地域の夢を形にしていきたいです。

東松山支店(現:埼玉西地域本部) 谷川 奈々恵



AREA VOICE

目指すは 共感の広がり

熊谷支店では、地域誌で子どもの食支援の必要性を知ったことをきっかけに、子どもたちやそのご家庭を地域で支える仕組みづくりに取り組みました。市内の金融機関に声がけをした結果、「地域の子どもたちを笑顔にしたい」という想いに共感した12機関による合同フードドライブへとつながりました。集まった50リットルコンテナ約30箱分の食品や日用品は、熊谷なないろ食堂さんに寄贈されました。

当店ではプロジェクトチームをつくり、フードドライブに限らず、ペットボトルキャップや子ども服の寄贈など、地域に目を向けた活動をみんなで主体的に考え、実践しています。

過去の慣習にとらわれず、埼玉県や地域の将来にどのように関わっていくことができるかを思い描き、まずは自発的にチャレンジしていく。そうした未来志向の取り組みが新たな銀行像を作り、地域に共感されていくことを目指し、「日本一暮らしやすい埼玉」の実現につながるよう全従業員一丸となってまいります。

熊谷支店 支店長 前原 郷



AREA VOICE

地域社会の 未来への挑戦

鳩ヶ谷支店では2025年度より、「子どもたちに笑顔が溢れ、誰もが人らしく生きられる社会」をコンセプトとして子ども支援と農業を支える取組みを行う一般社団法人新しい道と連携しています。団体が協賛企業からの支援金で農家からお米を購入し、子ども食堂などへ寄付します。当店は贈呈式の会場提供や贈呈先への運搬を担うなど、その取組みを後押ししています。

また、同団体が企画した猪苗代の田植えイベントにも参加し、子どもたちが農業への関心を深める機会づくりにも触れ、私たち自身も貴重な農業体験を得ることができました。こうした地元団体との連携を通じて、これまでの「銀行とお客さま」という関係を超え、地域の良き協力者としてつながりを深め、今後も広い視野で地域社会の未来に資する新たな挑戦を続けてまいります。

鳩ヶ谷支店 渉外課 マネージャー 森 綾乃



AREA VOICE

地域をつなぐ ハブの役割

越谷レイクタウンは新しくできたまちであるため、地域の皆さまが気軽に交流できる場があれば良いのではないかと考えていました。そこで、埼玉県で開催されるねりんピック彩の国さいたま2026の越谷市開催種目である太極拳をヒントに、越谷市や埼玉県武術太極拳連盟と連携し、イベントを企画しました。

当日は約30名の地域住民の方が集まり、新たな交流が生まれました。また、店頭では選手への応援メッセージを募集し、子どもたちからも多くのメッセージが寄せられるなど、世代を超えたねりんピックへの機運が醸成されました。

今後も、金融の枠を超え、地域のこまりごとを解決するハブとしての役割を果たせるようアンテナを高く張り、地域に役立つ情報発信やコミュニティづくりに貢献してまいります。

越谷レイクタウン出張所 所長 石田 絵美
(現:新所沢支店 支店長)

埼玉西地域



和光市・新座市・朝霞市・志木市・富士見市・ふじみ野市・所沢市・三芳町・川越市・川島町・入間市・狭山市・飯能市・日高市・鶴ヶ島市・坂戸市・東松山市・毛呂山町・越生町・鳩山町・ときがわ町・小川町・嵐山町・滑川町・吉見町・東秩父村

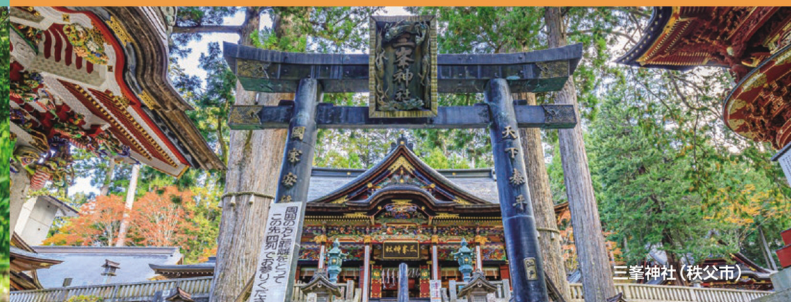


新河岸川(川越市)

埼玉県央・北地域



上尾市・伊奈町・桶川市・北本市・鴻巣市・羽生市・行田市・熊谷市・深谷市・上里町・神川町・本庄市・美里町・寄居町・長瀨町・皆野町・小鹿野町・秩父市・横瀬町



三峯神社(秩父市)

埼玉中央地域



さいたま市・川口市・蕨市・戸田市

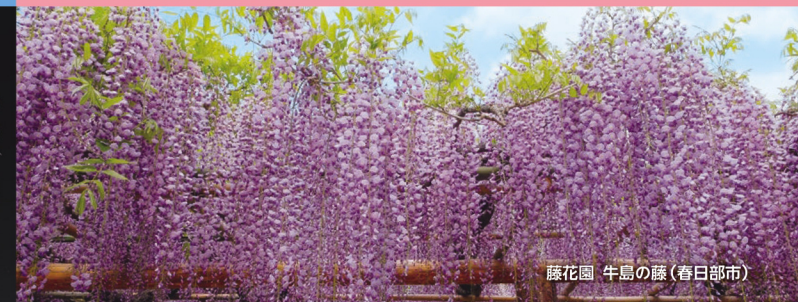


戸田花火大会・いたばし花火大会(戸田市)

埼玉東地域



八潮市・三郷市・草加市・越谷市・吉川市・松伏町・春日部市・蓮田市・白岡市・宮代町・杉戸町・久喜市・幸手市・加須市



藤花園 牛島の藤(春日部市)

未来志向の道德銀行 ～埼玉県 全域に地域のプラスを共創～



産・官・学・金でまちの魅力を「共創」



商品開発に携わった6者による完成報告会



東松山名物やきとりの辛味噌だれと老舗和菓子店の牡丹だんごを組み合わせた新商品



未来志向の取組みを「共創」



金融12機関による
フードドライブ合同贈呈式



プロジェクト活動のひとつである
支店周辺の清掃活動時の様子



農業と子どもを支える取組みを「共創」



鳩ヶ谷支店にて贈呈されたお米100Kg



猪苗代で実施された団体主催の
田植え体験イベントの様子



新たな地域コミュニティを「共創」



越谷支店にて行われた
太極拳体験イベントの様子



店頭で集まった選手への熱い
応援メッセージは大会会場でも掲示される

埼玉県からのお知らせ

11月7日(土)～10日(火)の4日間 埼玉県で初開催

ねんりんピック彩の国さいたま2026

ねんりんピックは、60歳以上の方を中心に、あらゆる世代の人たちが楽しむことができるスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典です。1988年にスタートし、今年11月、埼玉県では初となる「ねんりんピック彩の国さいたま2026」を開催します。

大会期間中は県内24市町で、卓球やソフトボール、弓道といったスポーツ26種目、囲碁や将棋など文化4種目、計30種目の交流大会が行われるほか、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場における総開会式をはじめ、美術展、音楽文化祭、ふれあい広場など幅広い世代の方に楽しんでいただけるイベントを実施します。

総開会・閉会式、音楽文化祭及び講演会の観覧者募集などについては、7月下旬(予定)に大会特設ホームページで御案内します。

皆様の御来場をお待ちしております。

令和8年7月1日施行「埼玉県カスタマーハラスメント防止条例」

カスタマーハラスメント防止対策

埼玉県では、社会全体でカスタマーハラスメント(カスハラ)を防止し、顧客と働く人が対等な立場で相互に尊重し合える社会の実現を目指して、カスタマーハラスメント防止条例を制定しました。

この条例では、事業者等に対してカスハラ防止への取組姿勢を示す基本方針の作成等の責務を定めています。県では、こうした事業者等によるカスハラ防止対策を支援するため、以下の取組を実施します。

- ①基本方針の作成等を支援するコンサルタントの派遣
- ②カスハラ対策WEBセミナーの実施
- ③啓発活動の実施(ポータルサイトの設置やリーフレット配布等)
- ④カスハラに関する総合相談窓口の設置
- ⑤カスハラ防止への優良な取組を実施した事業者等の表彰 等

働く人をカスハラから守ることにより、誰もが安心して働き、事業者が安定した事業活動を継続できる環境づくりを進めます。

第38回全国健康福祉祭埼玉大会 ねんりんピック彩の国さいたま2026 咲き誇れ! 長寿と笑顔 彩の国



岐阜大会の様子【写真提供:岐阜県】



コバトン&さいたまっち



大会特設
ホームページ

思いやりから、はじまる関係



カスハラのない埼玉県へ

カスハラ防止対策事業のロゴマーク



埼玉県カスハラ
防止対策
ポータルサイト



ポータルサイトバナー

埼玉りそな銀行 NEWS

無通帳で「埼玉」にも「環境」にも貢献

埼玉りそな銀行は、無通帳口座の推進を通じて、地域のDX促進や環境負荷低減に取り組んでいます。本取組では、個人のお客さまが無通帳口座を選択・切替えされた場合、1口座あたり10円相当の物品を埼玉県を通じて寄贈し、地域課題の解決に活用いただいています。第1回は県内のフードパントリーや子ども食堂などへお米を寄贈し、第2回は県内の乳児院へベビー用品を寄贈する予定です。今後も地元埼玉に根差した銀行として、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。



県庁支店

地域との 価値共創に挑戦

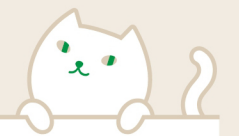
『日本一暮らしやすい埼玉』の実現に向け、渋沢栄一翁が掲げた「道徳経済合一」の理念に基づき、持続可能な地域との価値共創に挑戦してまいります。

担当役員 高原 央明



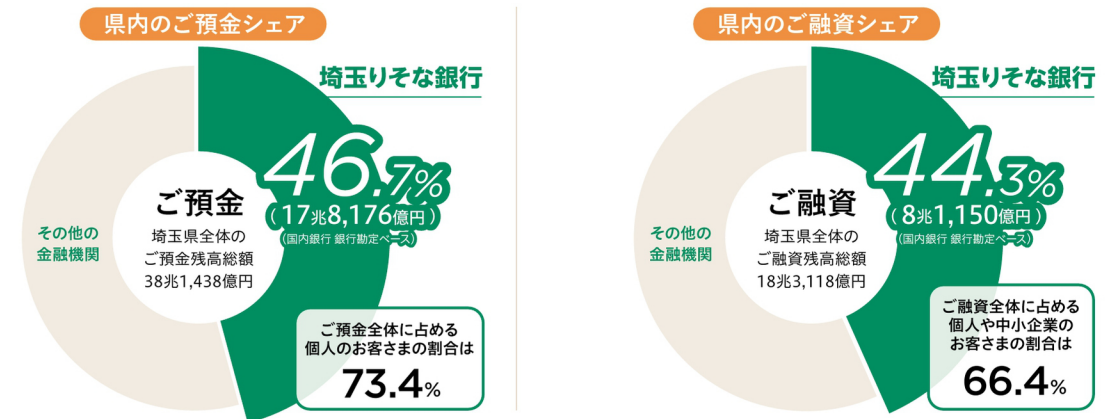
▼財務情報

2026年3月期 財務・非財務ハイライト



おかげさまで県内トップシェア

ご預金・ご融資の県内シェアはともに**40%超**を確保



安定的な収益力と高い健全性

県内トップの地域金融機関として、安定的な収益力と高い健全性を維持

安定的な収益力

業務粗利益

1,345
億円

当期純利益

554
億円

高い健全性

自己資本比率

14.31
%

不良債権比率

0.90
%

▼非財務情報

グループサステナビリティ長期目標関連実績			グループ ESG 評価	
リテール・トランジション・ファイナンス	カーボンニュートラル	女性活躍推進	FTSE	3.7
グループ 累計取扱高 7.6兆円	グループ CO ₂ 排出量 2013年度比▲81% (埼玉りそな 自社物件再エネ比率100%達成)	女性ライン管理職比率※1 36.3%(埼玉りそな銀行44.7%) (参考)男性育児休業取得率※2 100.2%(埼玉りそな銀行102.2%)	MSCI	AA
			S&P	7
			MSCI (WIN)	8.4
			Morningstar Group1	2026年7月1日現在

※1 部下のいるマネージャー以上の職層

※2 「年度中に育児休業取得を開始した人」÷「年度中に子どもが産まれた人」の割合

埼玉りそな銀行 サステナビリティ活動実績

- ・埼玉関連基金寄付：累計約1.3億円
- ・金融経済教育：77千人(2022-2025年度)
- ・フードドライブ：全拠点で実施・累計5万4千点寄贈

「食品ロス削減月間」である10月から「子供・若者育成支援推進強調月間」である11月にかけて、埼玉県が実施する「埼玉県県下一斉フードドライブキャンペーン」にも多くの支店が参加しました

情報ディスクローズを
詳しく知りたい方へ

財務情報・IRライブラリー▶



ESGデータ集▶

